

令和4年度

美里町の教育



美里町教育委員会

令和4年度「美里町の教育」

目 次

【美里町の概要】

1 自然条件	
2 産業・経済	
3 観光・イベント	
4 歴史・伝統行事・伝統芸能	
5 特産品	
6 郷土の誇り	
7 姉妹都市	

.....	1
.....	2

【美里町の教育】

1 基本理念	3
2 基本方針	3
3 教育施策	4～7
4 美里町立幼稚園・小学校・中学校の概要	
（1）学級編成	8
（2）幼稚園経営概要	9～11
（3）小学校経営概要	12～17
（4）中学校経営概要	18～20
（5）南郷学校給食センター	21
5 社会教育・生涯学習	
（1）社会教育事業計画	22
（2）生涯学習事業計画	23～25
（3）指定・登録文化財一覧	26
（4）文化財関係施設一覧	26
（5）近代文学館・図書館	27
（6）郷土資料館	28
（7）社会教育・生涯学習関連施設	29
（8）社会教育委員	29
6 美里町教育委員会	30
7 美里町教育委員会組織機構	30
8 教育予算	31
9 附属機関等	32
10 教育委員会事務局一覧	
（1）教育委員会事務局	32
（2）教育関連施設等	32

【美里町の概要】

心豊かな人材を育み、地域産業が発展し、
にぎわいのある、生き生きとした暮らしができるまち

美里町総合計画・美里町総合戦略〔町の将来像〕

1 自然条件

美里町は、仙台平野の北東端に位置し、奥羽山脈から流れる1級河川の江合川や鳴瀬川などの沖積平野（大崎耕土）が広がる、おおむね平坦な地形です。約75km²に及ぶ町の面積の約70%を豊かな水田や畑が占めています。

気候は内陸性気候で、降雪期間が比較的短く、冬季の降水量が少ないので、暮らしやすい地域です。

2 産業・経済

豊かな穀倉地帯で、国道・県道沿いに工場や大型店の立地が進んでいます。基幹産業である農業は、米や野菜だけでなく、果樹や施設園芸、畜産も盛んです。日本有数の広さを誇る「みやぎ総合家畜市場」では、年間150回以上の市が開催されます。

3 観光・イベント

6月には「生き生き田園フェステバル」、8月には「えきフェス MISATO」が開催され、多くの人でにぎわいます。11月3日には「ひとめぼれマラソン」が開催され、県内外からの参加者には、美里町産の新米おにぎりや豚汁がふるまわれています。

5月初旬から10月下旬は、小牛田駅前朝6時から「こごた朝市」が開かれ、さまざまな出店が並びます。常時、地場産品がずらりと並ぶ南郷地域の「花野果市場」や、ログハウスの宿泊施設「でんえん土田畑村」も好評です。

4 歴史・伝統行事・伝統芸能

藩政時代から安産の神様として知られる「山神社」や縄文時代から中世に至る複合遺跡の「山前遺跡」等、歴史的な史跡があります。

山神社のどんと祭や春・秋の例大祭は、多くの人でにぎわいます。また、関根神楽、不動堂神楽、和太鼓等があります。

5 特産品

北浦梨、山の神まんじゅう、日本酒(黄金澤)、こごた漬け、バラ、いちご、手作りのハム・ソーセージ、大葉とその加工食品、銘柄米(ささにしき、ひとめぼれ)、ジャガイモなどがあります。

6 郷土の誇り

春から夏にかけて緑色に染まり、秋には黄金色の稲穂が波打つ、見渡す限りに広がる田園風景は、美里ならではの風景です。この豊かで伝統的な農村風土が、平成29年12月、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町とともに、「大崎耕土の巧みな水管理による水田農業システム」として世界農業遺産に認定されました。

また、「小牛田駅」は、東北本線、陸羽東線・石巻線と、石巻線から分岐する気仙沼線の4路線が利用できるターミナル駅として鉄道マニアには有名であり、夏には小牛田駅を会場に「えきフェス MISATO」が開催されます。

7 姉妹都市

アメリカ合衆国ミネソタ州のウィノナ市と姉妹都市となっており、毎年、中高生が互いにホームステイをするなどして、交流を図っています。

※ ウィノナ市 広大なミシシッピー川沿いに位置する自然豊かな学園都市
面積は、約62㎢ 人口は約27,000人
主な産業；ウィノナニット、乳製品、小麦、りんごなど



町章

美里町の「み」をモチーフに、さわやか風が吹く、自然いっぱいの大地をイメージし、住民の団結、自然と住民の調和を表現しています。先人から受け継ぐ歴史と文化を宝に、共に飛躍していく願いがこめられています。

交流記念に建てられた
ウィノナ姫の像



美里町は、面積 約75㎢
人口 約24,000人(5/1現在)

町花 ばら



公認キャラクター

みさとまちこちゃん



町木 はなみずき



【美里町の教育】

美里町教育委員会では、第2次美里町総合計画・美里町総合戦略・第2期美里町教育振興基本計画に基づき、教育行政を進めてまいります。

1 基本理念

人との支え合いを大切にし、自ら学び、
たくましく柔軟に生き抜く力をはぐくむ

2 基本方針

（1）学校教育の充実 （夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力の育成）

〈3つの柱〉

- ・ 自ら学び、自ら考え、自ら問題を解決する子どもを育てる（確かな学力）。
- ・ 豊かな心を持ち、互いに支え合う子どもを育てる（豊かな人間性）。
- ・ 心身ともに健康で、たくましく柔軟に生きる子どもを育てる（心身の健康）。

（2）多様な人材の育成 （社会の持続的な発展をけん引するための多様な力の育成）

情報化やグローバル化が急速に進み、人工知能（AI）が急速に進展する中で、情報、人工知能（AI）を駆使し、グローバルに活躍する多様な人材を育成します。

（3）生涯学習の充実 （生涯学び、活躍できる環境の整備）

人生100年時代を見据えて、学校教育と生涯学習の学びの場の垣根を低くして、子どもから大人までの様々な世代が地域や社会に主体的にかかわりながら、生涯にわたって学び、それらを生かして活躍することができるように、図書館、郷土資料館等の生涯学習環境を整備します。

（4）学びのセーフティネットの構築

（誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットの構築）

経済的に困難な家庭の子どもたちに対する支援と特別な支援を必要とする子どもたち一人一人の教育ニーズに応じた多様で柔軟な取り組みをより一層進めていきます。

（5）教育を振興するための基盤整備 （学校教育環境の整備と充実）

ICTの利活用の促進、安全・安心で質の高い学校教育環境の整備を含めて、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等の取組をより一層進めていきます。

3 教育施策

(1) 学校教育の充実

1) 確かな学力

① 多様な幼児教育の実践

就学前の幼児教育については、世代間交流、植物・農作物栽培、小中高生・地域住民との交流、食育、挨拶運動、「早寝、早起き、朝ごはん」の推奨等の多様な取組を行うことにより、幼児が円滑に就学することができるように努めます。

② 学習到達度の把握と結果分析を活用した教科指導

教育委員会が中心となり、各学校の研究主任で構成する学力向上推進委員会を通して、学力向上の取組に関する情報を学校間で共有し、各学校における学力向上につなげます。また、全国学力・学習状況調査に加え、小学校の3年生以上及び中学校の1・2年生を対象にCRT（目標基準準拠テスト）を実施し、これらの結果を分析し、今後の学習指導に役立てます。

③ 小中連携教育の推進

町全体での小中連携教育を見据えたうえで、中学校区ごとに課題を共有し、課題解決に向けて取り組むべき具体的な方策を見いだすため、学力向上推進委員会等で協議し、小中連携教育の推進を図ります。

2) 豊かな心の育成

① 総合的な学習の時間の充実

児童生徒が様々なものに興味と関心を持ち、自ら進んで行なう調べ学習が積極的に行えるよう、学習機会を確保しながら、教材等の有効な活用に努めます。

② いじめ防止・心のケアの充実

いじめられた児童生徒の心のケアを第一に、いじめに関する指導・相談体制を強化します。

③ 道德教育等の充実

道德教育は、道德科を要として学校の教育活動全体を通じて行うことから、全体計画を作成し、全ての教師が協力して効果的な道德教育を推進します。

④ ESD（Education for Sustainable Development「持続可能な開発のための教育」）を見据えた学習の推進

新中学校においては、ESDの推進拠点として位置付けられているユネスコスクールに加盟するための取組を進めます。また、町内小学校・幼稚園においても、ESDを踏まえた学習を推進します。

3) 健やかな体の育成

① 規則正しい生活習慣・運動習慣の定着

生活習慣調査を継続し、その結果を基に、各家庭における基本的な生活習慣の理解・定着が図られるよう支援します。また、規則正しい生活習慣の指導、「早寝、早起き、朝ごはん運動」について、幼児時期から義務教育期間にかけて継続的に取り組みます。

4) 社会的自立に向けた能力・態度の育成

① キャリア教育の充実

教育活動全体を通じて、社会的自立に必要な基盤となる能力・態度を育成できる体制を整えます。

5) 家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進

① 協働教育の推進

家庭・学校・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に連携・協力することで、家庭及び地域における教育力の向上を図ります。また、学校教育を一層充実させるために地域の住民が一体となって子どもたちをサポートしていく地域社会の形成に努めます。

(2) 多様な人材の育成

1) グローバルに活躍する人材の育成

① 英語教育の充実

児童生徒がネイティブの英語に触れ、学べる環境を整えます。また、国際共通語としての英語力の向上を図り、児童生徒が将来において、国際化社会に対応できるような英語教育に取り組みます。

② 非核平和の推進

グローバルに活躍していくためには、世界の情勢、国際紛争にも目を向けていく必要があります。平和の大切さを学び、考える機会として、被爆地への中学生派遣、戦争被爆体験者の講演会及び平和展の開催を通じて、平和について考える機会を提供していきます。

③ 伝統、文化及び芸術に関する教育の推進

児童生徒が、まちの伝統、文化及び優れた芸術に触れる機会を通じて、その良さを継承し、さらに新しい文化、芸術の創造に向かう教育の充実に取り組みます。

(3) 生涯学習の充実

1) 人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進

① 図書館事業の充実

図書館において、各世代のライフステージ、ライフスタイルにあった資料提供、利用サービスを行います。また、小中学校及び幼稚園と連携した読書環境の整備、県立図書館・県内公共図書館との連携を進めます。さらには、読み聞かせなどボランティアの育成、地域資料の充実、千葉亀雄記念文学室の活用に取り組みます。

② 文化財の保護・保存

文化財に関する情報の充実を図るとともに、重要な文化財の調査を計画的に進め、歴史的価値があるものを文化財に指定し、文化財の積極的な保護に努めます。また、町内の伝統芸能を住民が知る機会を増やし、後継者の育成に努めます。

③ 郷土資料館を中心とした資料収集・保存・活用

ボランティアを積極的に活用し、資料を整理し、多くの人が郷土資料館を活用できるように、郷土資料館の運営方法を含めて、郷土資料館の充実を図ります。

④ 文化活動、スポーツ活動を行う団体、個人への支援

学校教育と生涯学習の学びの場の垣根を低くして、子どもから大人までの様々な世代が、地域や社会に主体的にかかわりながら、活動することのできる生涯学習環境を、図書館、コミュニティセンター、スポーツ施設を含めて整備するとともに、文化活動、スポーツ活動を行う団体、個人への一層の支援を行っていきます。

2) 人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進

① 社会教育の推進

家庭、学校、地域社会及び関係団体が一体となって青少年の健全育成活動を展開します。

② 社会教育関係施設の計画的な整備と維持管理

文化・スポーツ施設等については、いつでも誰でもが活動ができる環境づくりに努めながら、長寿命化計画を基に適正な維持管理に努めます。また、文化・スポーツ活動を推進するために、学校体育施設の開放を引き続き行います。

(4) 学びのセーフティネットの構築

1) 家庭への経済的支援と健康保持

① 学校給食を通じた食育と食生活指導の充実

各学校の栄養教諭及び栄養士が連携し、栄養量の確保と残食などの課題を共有し、献立を工夫しながら、子供たちの健全な発育・発達を支援する給食を提供します。

② 就学援助制度の充実

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助及び特別支援教育就学奨励の取組として、給食費、学用品費等の援助を行っていきます。

③ 奨学金制度の充実

奨学金制度について広く周知し、貸付を行うとともに、制度の充実に向けた検討を行います。また、償還に関しては、状況に応じ猶予、分納等の対応も取りながら適切に行っていきます。

2) 教育機会の提供

① 特別支援教育の充実

学校教育に特別な支援が必要な子どもたちに対し、個別の指導計画や個別の教育支援計画の活用を通じて、小中学校及び幼稚園に在籍する子どもたちに対し、必要な指導や支援を行います。また、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制を整備し、全ての教員が障害や特別支援教育に関する理解を深める取組を推進します。また、就学前の子どもの障害の早期発見と適切な支援に努めます。

② 不登校の解消に向けた取組、学びの場の確保等

教育委員会、学校及び保護者の連携を強化し、不登校の児童生徒が相談しやすい体制を確立するとともに、学びの場を確保します。

(5) 教育を振興するための基盤整備

1) 新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等

① 学校教育を支援するための人員の配置

引き続き、教育委員会に学校教育専門指導員、青少年教育相談員、特別支援教育専門員、及び小・中学校に学力向上支援員、教員補助員を配置するとともに、さらなる教育環境の充実を図り、教職員の指導体制の強化と教師の教育力向上のための取組を支援します。

② 預かり保育の拡充

教育委員会と子ども家庭課との連携を強め、預かり保育のニーズに対応できる幼保連携の環境づくりを目指します。

③ 部活動・課外活動を含めた、多様な人材を活用した教育活動の展開

中学校の部活動に部活動指導員・外部指導者、小・中学校に教員補助員を配置し、それぞれの活動を補助・充実させるとともに、教職員の負担軽減を図ります。

2) ICT 利活用のための基盤整備

① ICT 教育推進

国及び県の動向を注視し、財源確保に努め、学校と連携を図りながら、ICT 教育を推進していくための体制の構築を図ります。

3) 安全・安心で質の高い教育環境の整備

① 学校施設の計画的な管理・修繕

施設の管理・修繕について、長寿命化の視点から計画的な施設管理、予防保全に努めます。

② 中学校の再編整備

新中学校の令和7年4月開校を目指し、町長部局と連携して工事等を着実に進めます。また、新中学校開校準備委員会を中心に、開校に向けた準備を進めます。

4) 児童生徒等の安全の確保

① 通学等子どもの安全確保対策

スクールバスの運行については、より安全な運行体制を構築します。また、徒歩・自転車通学の児童生徒の安全を確保するため、地域住民との連携・協力を進めていきます。

4 美里町立幼稚園・小学校・中学校の概要

(1) 学級編制 (令和4年5月1日現在)

1) 幼稚園

園 名	3歳児		4歳児		5歳児		計		預かり保育 幼児数
	幼児数	学級数	幼児数	学級数	幼児数	学級数	幼児数	学級数	
こごた	24	2	27	1	35	2	86	5	51
ふどうどう	37	3	57	3	51	3	145	9	76
なんごう	15	1	17	2	17	1	49	4	35
計	76	6	101	6	103	6	280	18	162

2) 小学校

学校名	1年生		2年生		3年生		4年生	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
小牛田	28	1	27	1	21	1	25	1
不動堂	81	3	81	3	75	3	72	2
北 浦	17	1	16	1	17	1	28	1
中 埜	18	1	12	1	18	1	13	1
青 生	14	1	11	1	12	1	12	1
南 郷	34	1	24	1	36	2	34	1
計	192	8	171	8	179	9	184	7

学校名	5年生		6年生		特別支援学級		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
小牛田	25	1	24	1	7	3	157	9
不動堂	74	2	83	3	9	4	475	20
北 浦	24	1	30	1	5	3	137	9
中 埜	9	1	19	1	5	2	94	8
青 生	17	1	8	1	1	1	75	7
南 郷	33	1	29	1	8	2	198	9
計	182	7	193	8	35	15	1,136	62

3) 中学校

学校名	1年生		2年生		3年生		特別支援学級		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
小牛田	60	2	70	2	48	2	4	3	182	9
不動堂	76	3	77	2	72	2	4	2	229	9
南 郷	37	2	44	2	46	2	4	2	131	8
計	173	7	191	6	166	6	12	7	542	26

美里町立こごた幼稚園

〒987-0005

宮城県遠田郡美里町北浦字中新田142番地

電話 (0229) 35-2031

FAX (0229) 35-2032

E-mail: kogoyou@town.misato.miyagi.jp



【在籍園児数】

学年・クラス	男	女	計
年少（3歳児）			
もも	5	7	12
ばら	5	7	12
年中（4歳児）			
ちゅうりっぷ	17	10	27
年長（5歳児）			
ひまわり	8	9	17
さくら	8	10	18
計	43	43	86

1 園の概要

(1) 地域の実態

本園は本小牛田（もとこごた）といわれる地域に位置している。本小牛田は、古くは農業地帯であったが、山神社をはじめ商業を中心に繁栄し、園区内には小牛田小学校、北浦小学校、中埴小学校、小牛田中学校、宮城県農林高等学校、渡辺採種場本社、クミアイ化学工場、酒問屋、トレーニングセンター健康福祉センター（さるびあ館）、本小牛田コミュニティセンターがあり、地域環境に恵まれている。地域の人々は教育に対する関心が高く、協力的である。園児も素朴で明るく、素直な子が多い。子ども会育成会やコミュニティ活動が盛んである。

(2) 園の歴史

昭和47年4月に、私設「さくら幼稚園」を町が小山田氏より譲り受け、山の神社内に町立小牛田幼稚園として開園したことから始まる。その後、昭和50年4月に新西原地区に建設移転した。平成23年に発生した東日本大震災により園舎が全壊したことを受け、平成25年1月に小牛田幼稚園、北浦幼稚園、中埴幼稚園の3園が統合し、「こごた幼稚園」として新築開園となる。

2 園経営と概要（グランドデザイン）

教育目標

「豊かな心を持ち、明るく元気に遊ぶ幼児の育成」

げんきな子	がんばる子	やさしい子	かんがえる子
- 伸び伸びと遊ぶ子 - 挨拶する子 - 喜んで食べる子	- 進んで取り組む子 - 諦めない子 - 自分のことは自分でする子	- 思いやりのある子 - 物を大切に子 - 仲よくする子	- 自ら考え行動する子 - 工夫して遊ぶ子 - 自分の思いを表現できる子

【経営方針】

幼稚園の本質と園児の実態を十分に把握しつつ、次の点を重視しながら園経営に努める。

- ① 常に園児の自発性を促す環境構成と援助に努める。
- ② 適切な指導計画の作成と効果的な展開を心掛ける。
- ③ 園児一人一人の内面理解と発達過程を大切にする。
- ④ 教師間の協働性を深め、組織的・統一的な保育を目指す。
- ⑤ 家庭や地域との連携を密にし、相互信頼を深め、地域の幼児教育の拠点施設としての役割を担う。
- ⑥ 地域環境を生かした体験学習を重視し、ふれあいの場を設定する。
- ⑦ 子育て支援の充実に努める。



【健康で豊かな生活習慣の育成】

- 適切な挨拶の仕方や言葉づかいの育成
- 戸外遊びの奨励と元気に遊ぶ幼児の育成
- 幼児が自発的に楽しく体を動かすことができる環境づくり

【心を育てる保育の充実】

- 感動を育てる援助と環境づくりの推進
- 飼育栽培を通して生命の大切さをはぐくむ
- 一人一人の姿を認め褒めながら豊かな心をはぐくむ

【防災教育の推進】

- 幼児自身が危険を予測し、危険を回避できる資質や能力を育てる
- 地域に根差した安全教育の推進と地域組織など関係機関・団体との連携



【職員研修の充実】

- 職員としての資質や専門性の向上
- 서비스에必要な態度や価値観、知識、情報、技術や技能を得るための研修



【家庭や地域、及び保育所、小学校との連携】

- 園だより、クラスだより等による情報の伝達
- 多様化する地域のニーズへの対応
- 家庭と緊密な連携を図る。
- 幼保小中との連携
- 地域における幼児期の教育センターとしての役割の実践

美里町立ふどうどう幼稚園

〒987-0014
宮城県遠田郡美里町字志賀町三丁目2番地1
電話 (0229) 33-2192
FAX (0229) 33-2198
E-mail: fudoyou@town.misato.miyagi.jp



1 園の概要

(1) 地域の実態

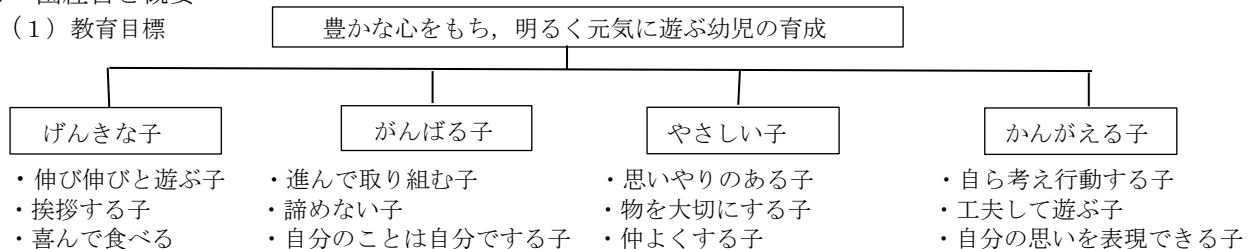
- ・ 本園は美里町不動堂地域に位置し、南側には鳴瀬川が流れ、西側にはJR東北本線が通っている。園周辺は住宅地が広がり、静かな環境の中にある。
- ・ 通園地区は、不動堂小学校校区と青生小学校校区から形成され広範囲である。地域は商店街、公共施設、駅東新興住宅、蜂谷森の遺跡がある丘陵、田園などが混在している。
- ・ 地域の人々は教育に対する関心度が高く、協力的である。

(2) 園の実態

- ・ 平成18年3月、美里町総合計画策定会議において、園舎整備と効果的な幼児教育推進の観点から不動堂中学校校区の不動堂幼稚園、青生幼稚園の2園の統合が決定され、平成22年4月新築開園した。
- ・ これまでの本町の幼児教育の成果をもとに、家庭との連携や地域環境（人材・施設など）の活用を図りながら、美里町の将来を担う幼児の育成を図る。

2 園経営と概要

(1) 教育目標



(2) 経営の方針

家庭や地域の協力を得ながら、幼児理解に努め、教育目標の具現化に努める。

- ・ 一人一人の特性を理解し、発達課題に即した保育に努める。
- ・ 幼児の感動を大切に、楽しい園生活が送れるように努める。
- ・ 常により良い保育環境の構成と工夫改善に努める。
- ・ 家庭や地域との連携を密にしながら、相互の信頼を図り、地域の幼児教育の向上に努める。
- ・ 研修の充実に努め、専門職としての資質と指導力の向上を図る。
- ・ 子育て支援の充実に努める。

(3) 努力事項

① 健康で豊かな生活習慣の育成

- ・ 適切なあいさつの仕方や言葉づかいの定義を図る。
- ・ 食育の推進を図る。
- ・ 体を動かして元気に遊ぶ幼児を育成する。

③ 特別支援教育の充実

- ・ 個別の教育支援計画の作成と指導援助の工夫
- ・ ユニバーサルデザインの促進

⑤ 防災教育の推進

- ・ 火災、地震等における危険について理解し、命を守るため安全に避難する方法を身に付ける。
- ・ 地域の状況に合わせた安全教育の推進と関係機関との連携

⑥ 職員研修の充実

- ・ 幼稚園職員としての資質と専門性を高める。
- ・ 職務に必要な態度や価値観・知識・情報・技術や技能を得るための研修を行う。

② 心を育てる保育の充実

- ・ 感動を育てる援助と環境づくりを推進する。
- ・ 自然環境への興味・関心を高める。
- ・ 一人一人の姿を認め、褒めながら豊かな心を育む。

④ 家庭や地域、および保育所、小学校との連携

- ・ 園だより・クラスだより等による情報の伝達を図る。
- ・ 多様化する地域のニーズへの対応を図る。
- ・ 家庭や地域に開かれた園経営を実践する。
- ・ 保幼小中及び児童館との連携を行う。
- ・ 地域における幼児教育のセンターとしての役割を果たす。

3 在籍園児数

学 年	3 歳児			4 歳児			5 歳児		
組 名	あひる	り す	ひよこ	こあら	ばんだ	うさぎ	きりん	ぞ う	らいおん
男 児	5	6	5	8	8	8	9	9	1 0
女 児	7	7	7	1 1	1 1	1 1	8	8	7
学級合計	1 2	1 3	1 2	1 9	1 9	1 9	1 7	1 7	1 7
学年合計	3 7			5 7			5 1		
全園児数	1 4 5								

美里町立なんごう幼稚園

〒989-4205

宮城県遠田郡美里町木間塚中央1番地

電話 0229-58-1272

FAX 0229-58-1248

E-mail genki02@town.misato.miyagi.jp



1 園の概要

(1) 地域の実態

美里町の南郷地域にあり、鳴瀬川沿岸、南東部の平坦地で、典型的な水稲単作地帯である。兼業農家が大半を占めているが、最近では、地場産品の加工販売などが盛んになってきている。

当園を囲む環境は、小学校1、中学校1、高校1、子育て支援センター（児童館）1、公民館、プール、体育館、宿泊施設（土田畑村）、野外活動センター、南郷庁舎、町立病院、特別養護老人ホーム（いなほの里）など、主だった施設が整備され、準農村地帯としては比較的恵まれた環境にある。

また当園は、平成17年度より幼稚園・保育園一体型の施設として新築開園され、幼稚園の3歳児保育をはじめ、預かり保育などを行っており、幼児教育に対する保護者のニーズの高まりと共に、理解と協力は徐々に深まってきている。

(2) 園の実態

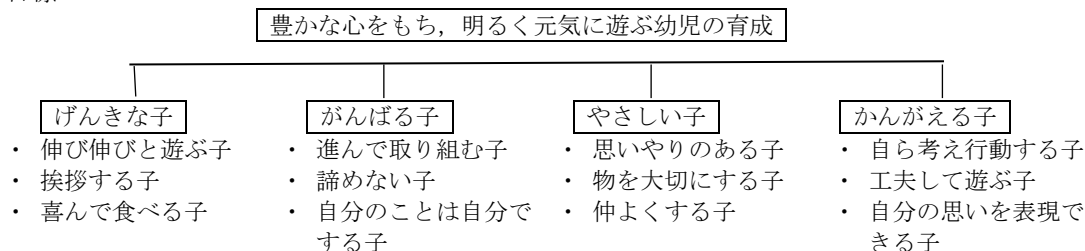
平成17年4月、旧南郷町時代に幼稚園・保育園一体施設として設立された。

平成18年1月、合併し美里町立なんごう幼稚園・保育園として現在に至る。

0歳児から5歳児までの乳幼児を対象に保育を実施すると共に、保護者のニーズに応じ、延長保育・一時保育・預かり保育・一時預かり保育などを実施し、保護者の就労支援をすると共に、地域環境（人材・施設など）の活用を図りながら、美里町の将来を担う幼児の育成を図る。

2 園経営と概要

(1) 教育目標



(2) 経営の方針

○ 家庭や地域の協力を得ながら幼児理解に努め、教育及び保育目標の具現化に努める。

- ・ 地域に開かれた施設を目指し、保護者や地域の方々との交流を大切にし、理解と協力のもと、幼稚園・保育園一体化施設としての役割を担う。また、特質を活かしながら、保育に取り組む。
- ・ 教師・保育士は、幼児を内面から理解した上で、幼児の主体的な活動が確保される環境を構成し、幼児の活動を豊かにする役割を果たし、さらには保護者や地域の多様なニーズに応えるための研鑽を重ね、教師・保育士自身の資質と指導力の向上に努める。

(3) 努力事項

【1】健康で豊かな生活習慣の育成

- ・ 規範意識の芽生えと生活習慣の育成。
- ・ 体を動かして元気に遊ぶ幼児の育成。
- ・ 食育の推進と健康の増進。

【3】家庭や地域、及び保育園、小学校との連携

- ・ 園だより、クラスだより等による情報の伝達。
- ・ 多様化する地域のニーズへの対応。
- ・ 家庭や地域に開かれた園経営の実践。
- ・ 保幼小中及び児童館との連携。
- ・ 地域における乳幼児教育・養護のセンターとしての役割を果たす。
- ・ 地域における防災体制の確立。

【2】心を育てる保育の充実

- ・ 五感に働き掛け、感動を育てる援助と環境構成の推進。
- ・ 自然環境への興味・関心を高める。
- ・ 一人一人の姿を認めほめながら思いやりの心を育む。

【4】延長保育・預かり保育・一時預かり保育の充実

- ・ 日常保育の継続と心に寄り添う支援の充実。
- ・ 地域社会における子育て支援の充実。

【5】職員研修の充実

- ・ 幼稚園教員としての資質向上と専門性の強化。
- ・ 職務に必要な態度や価値観、知識、情報、技術や技能を得るための研修。

3 在籍園児数

学年	クラス	男	女	計
年少（3歳児）	うさぎ組	8	7	15
年中（4歳児）	ばんだ組	3	6	9
	こあら組	4	4	8
年長（5歳児）	きりん組	9	8	17
計		24	25	49

【美里町立小牛田小学校】 <開校記念日 7月17日>

【在籍児童数】（5月1日現在）

所在地	〒987-0004 宮城県遠田郡美里町牛飼字清水江220番地		
開 校	明治6年4月1日		
電 話	0229-32-2319	F A X	0229-32-2321
Eメール	kogota-es@misato-ed.jp		

学年	1	2	3	4	5	6	ひ 1	ひ 2	ひ 3	計
男	14	11	10	16	13	8	2	1	1	76
女	14	16	11	9	12	16	1	2	0	81
計	28	27	21	25	25	24	3	3	1	157



学校教育目標 心身ともに健康で、意欲と夢をもって学ぶ、心豊かな子どもを育てる ～ 関わりの中で、共に学び、共に育つ ～

人は、社会の中で生まれ、社会の中で育ち、社会の中で自己実現していく。人との関わりに関心を持ち、より豊かに人と関わろうと志向する人は、豊かな人生を送ることができるであろう。人が好きな人を育てたい。

目指す児童像

	ア 明るい子ども	カ かしこい子ども	シ 親切な子ども	ア あきらめない子ども
低学年	元気に挨拶する子ども	話をよく聞き、進んで発表する子ども	みんなと仲よくする子ども	努力することの大切さを知る子ども
中学年	明るく挨拶する子ども	考えをまとめて発表する子ども	みんなと協力する子ども	目標に向かって頑張る子ども
高学年	進んで挨拶する子ども	考えを高めるために探求する子ども	相手の気持ちを察し、助け合う子ども	最後まであきらめない子ども

今年度の重点指導事項

7つの習慣（Leader In Me）

刃を研ぐ

主体的である

LIMに関する令和4年度の実践

- ・教育計画への位置づけ
- ・リーダーシップ集会の開催
- ・保護者・地域への啓発
- ・学校行事へLIMの援用
- ・校内掲示物の充実
- ・校内研究での実践

終わりを思い描く
ことから始める

シナジーを創り出す

最優先事項を優先する

Win-Winを考える

理解に徹する

豊かな心

- 【あいさつ＋1】
- ・日常のあいさつに肯定的な一言を加え、承認の日常化
- 【スクール・バディ】
- ・スクール・バディを設定し、年間を通して交流推進
- 【朝の教育面談】
- ・朝活時に教師と児童で1対1の面談の時間の設定
- 【ティーチャーズ・トレーニング】
- ・児童対応にティーチャーズ・トレーニングの手法を援用し、望ましい行動の賞賛励行

健康な身体

- 【体力向上】
- ・テスト結果を分析し、個人毎の目標を設定
- ・分析に基づく補強運動の導入
- 【健康の重要性を理解】
- ・命の器である心身の大切さについて理解深化
- ・身体は食べたものでできていることを理解させ、食への関心喚起

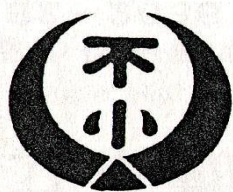


確かな学力

- 【授業力向上】
- ・「5つの提言」を取り入れた授業の展開
- ・シナジーのある授業づくりで主体的・対話的で深い学びを実現
- 【合理的配慮】
- ・児童理解に特別支援教育の視点を導入
- ・通常学級に在籍する配慮の必要な児童も安心できる学級風土の醸成
- 【教育のDX】
- ・個別最適な学習の充実
- ・学校全体のDX推進

【地域との連携】 ～スクールボランティア文化を小牛田地区に醸成する～

- ①地域との連携
- ②子どもの安全・健全育成の確保(防犯の会、健全育成会議)
- ③PTAとの連携
- ④学校だよりや学級だより、ブログなどを通した、積極的な発信・啓発



美里町立不動堂小学校

〒987-0041 遠田郡美里町字峯山12番地の1

TEL (0229) 32-2036 FAX 32-5525

E-mail fudodo-es@misato-ed.jp

HPアドレス <http://fudodo-es.misato-ed.jp>

令和4年度 学校経営全体構想図

校訓

【好学篤行】

多くのことに興味・関心を示し、自ら学び、人情に厚く、誠実に行動することを意味する。郷土の偉人千葉亀雄の人となりを表したものである。千葉亀雄は、本校の卒業生でジャーナリスト・文芸評論家として活躍した。

学校教育目標

夢を持ち 自分のよさを発揮できる
心身ともにたくましい児童の育成

目指す児童像

- ◇ やさしく（徳）→ イチョウの葉のように、心かよわせられる「やさしい子」
- ◇ かしこく（知）→ イチョウの根のように、知識を吸い上げる「かしこい子」
- ◇ たくましく（体）→ イチョウの幹のように、すくすくと伸びる「たくましい子」

地域の実態

- ◇ 新興住宅地と昔からの地区に分かれている。
- ◇ 小牛田駅を中心に広がる。

児童の実態

- ◇ 素直で活動的であるが、家庭環境等により、学習・生活面それぞれで個人差が見られる。



運動会（5月）



花山宿泊学習（7月）



リーダー・イン・ミーの活動



短縄跳記録会（1月）

目指す学校像

- (1) 豊かな心、確かな学力、健やかな体を育む学校
- (2) 安全で安心な学校
- (3) 保護者や地域に信頼される学校



校木の銀杏

学校経営方針

- (1) 教育活動全体を通して、徳・知・体の調和のとれた教育を行い、豊かな心を育み、確かな学力を育成し、体力向上及び健康増進を図る。
- (2) リーダー・イン・ミーの充実を図り、自他共に尊重しいじめのない、児童にとって安全・安心で、楽しい「行きたくなる学校」づくりを目指す。その環境を土台として確かな学力の育成を図る。
- (3) 家庭や地域及び関係諸機関との連携を強め、地域に開かれた学校の推進に努める。

目指す教師像

- (1) 児童一人一人に愛情を注ぎ、児童と共に成長しようとする教師【教育愛】
- (2) 楽しく分かる授業を心掛け、常に授業改善に努める教師【自己研鑽】
- (3) 必要なことを素早く認識し、情熱を持って適切に指導する教師【使命感】
- (4) 誰に対しても明るく挨拶をし、職場の和を大切にす教師【協調性】
- (5) 児童・保護者・地域及び同僚から信頼される教師【信頼性】

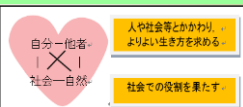
重点目標

- (1) 教育環境の整備と児童の実態に即した教育課程の推進
- (2) 道徳教育・心の教育の充実
- (3) 確かな学力の育成
- (4) 生徒指導の充実
- (5) 情報教育の充実（ICT教育の推進）

目指す児童像達成に向けて

「やさしい子ども」育成のために

- (1) インクルーシブ教育の充実と積極的な生徒指導の推進
- (2) リーダー・イン・ミーの手法を取り入れた指導の推進
- (3) 道徳の授業の積み重ねと全教育活動による道徳実践力の向上
- (4) 豊かな情操と思いやりの心を育てる体験的な活動の充実
- (5) 児童会活動を柱にした「あいさつ運動」の推進
- (6) 夢と志を育む協働教育の推進



「かしこい子ども」育成のために

- (1) よりよい学級集団づくりに向けた校内の学習・生活ルールの統一
- (2) 多面的な見方や考え方で課題を把握し、学び合いの質の向上を目指した授業づくり
- (3) 一人一台端末及びA1ドリルの積極的活用による個に応じた指導の充実
- (4) 家庭学習「自学」の内容の充実、読書の習慣化
- (5) 外国語・外国語活動を含む言語活動の充実と表現力・コミュニケーション能力の向上
- (6) 情報活用能力（プログラミング教育）の育成



「たくましい子ども」育成のために

- (1) 健康安全教育の充実と命の大切さを学ぶ授業等の設定
- (2) 主体性を高め、実践的な態度を育てる特別活動の充実
- (3) 一人一人の自信と体力・学力向上につながる継続的な取組の設定
- (4) 物事に根気強く取り組み、最後までやり通す体験活動の設定

夢を志に



児童数と学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特別支援	合計
学級	3	3	3	2	2	3	4	20
男	46	40	39	35	40	52	7	259
女	35	41	36	37	34	31	2	216
計	81	81	75	72	74	83	9	475



美里町立北浦小学校

〒987-0005

宮城県遠田郡美里町北浦字浦田上129

TEL (0229) 34-2332 FAX (0229) 34-2309



【教育目標】「知性に富み 情操豊かで 心身ともに健康な児童の育成」

【教育方針】人間として調和のとれた児童の育成を目指し、新学習指導要領の趣旨を基本とした授業改善、並びに地域社会と協働した創意と特色ある教育活動を通し、志教育の意義を踏まえた教育を推進する。

かしこく

やさしく

たくましく

【目指す教師像】

- (1) 子どもに寄り添い、信頼される教職員
- (2) よりよい授業、教育活動をめざす教職員
- (3) 語り合い、学び合い、力を合わせる教職員

【目指す学校像】

- (1) 児童の「学ぶ喜び」、保護者の「通わせる喜び」、教職員の「教える喜び」を大切にする学校
- (2) 児童の満足感を高め、「行きたくなる」学校
- (3) 児童の「安全・安心」と保護者の「安心」を目指す学校
- (4) 地域に開き「地域と協働する」学校

【志教育の推進】

- よりよい生き方を主体的に考え求めさせる
- 地域の方々や素材による授業や体験活動
- 「みやぎの先人集」の活用
- 幼稚園、保育所、中学校との交流と連携

確かな学力

- 指導法の工夫改善
- 協働的な学びと個別最適な学び、ICTの推進
- 校内研究・研修の推進
- 特別支援教育の充実

豊かな心

- 道徳教育の充実
- 心を育てる教育の推進
- 生徒指導・教育相談の充実
- 魅力ある学校、行きたくなる学校づくり

健康な体

- 健康な体力作りの推進
- 勤労意欲の向上
- 安全・安心な学校づくり

【児童が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばすための教育評価】

- 教育評価システムを生かした学校運営（検証、改善）、○学校評価の公表（保護者・地域民の理解と参画）

【「地域と共に歩む」社会に開かれた学校づくりの推進】「保護者・地域との連携・協働」

【令和4年度学年・学級編成】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
男	10	11	8	14	15	19	3	80
女	7	5	9	14	9	11	2	87
計	17	16	17	28	24	30	5	137



交通安全祈願だるま



5年 稲作体験



3年 神楽学習



美里町立中埜小学校

〒987-0022 遠田郡美里町荻埜字朝日壇78番地
TEL (0229) 34-2331 FAX 34-1977
メール nakazone-es@misato-ed.jp
HP 及び <http://nakazone-es.misato-ed.jp/>



学校教育目標

「夢（志）に向かってチャレンジする子どもの育成」

目指す学校像

「夢がふくらむ 楽しい学校」

- 安心して学習・生活できる秩序ある学校
- 心豊かな学校
- 開かれた学校（地域との連携）



目指す教師像

- 子どもと共に学び、日々歩む教師
- 子どもとのかかわりを通し、ともに成長していく教師
- 教育実践に真剣に取り組むプロとしての教師
- 健康で笑顔に満ちたたくましい教師
- 力を合わせ共に磨き合う教師
- 地域とともにある学校として、地域から学び、地域を感じて歩む教師
- 子どもに夢を持たせ、信頼される教師

目指す児童像

- 学習を大切にする子ども（知育）
- 友だち（人）を大切にする子ども（徳育）
- 命（体）を大切にする子ども（体育）



学校経営方針

子どもにとって「夢がふくらむ楽しい学校」を目指し、「午前5時間制」による子ども、親、地域とのかかわりを大切にした学校づくりに努める。

中埜小五つの心で関わろう

「明るい心」 「素直な心」 「謙虚な心」
「積極的な心」 「感謝の心」

主な年間予定

1 学期		2 学期	
4月	始業式・入学式 学習参観・PTA総会 1年生を迎える会 家庭確認	10月	始業式 学芸会
5月	田植え 不審者対応訓練 運動会	11月	避難訓練(火災) 図書まつり 芸術鑑賞教室 収穫祭
6月	プール開き 引き渡し訓練 避難訓練(地震)	12月	学習参観 しめ縄づくり わかさ祭り
7月	避難訓練(水害) 教育相談	1月	給食まつり 風づくり
8・9月	志津川合宿 プール納め 修学旅行	2月	一日入学 学習参観
10月	稲刈り 終業式	3月	6年生を送る会 たてわり感謝の会 卒業式・修了式 離任式

学校教育目標を達成するための重点推進事項



- 1 豊かな心を育む
- 2 学びを大切にし「じっくり」「しっかり」身に付けさせる
- 3 かけがえのない命を大切にする心を育む
- 4 家庭・地域とともにある信頼される学校を目指す

《学級編成及び児童数》（令和4年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	わかさ1	わかさ2	計
人数	18	12	18	13	9	19	2	3	94



美里町立青生小学校

〒989-0015 遠田郡美里町青生字中ノ橋128-1
TEL 0229-32-2278 FAX 0229-32-4325
E-mail ao-es@misato-ed.jp

学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学び、心身共にたくましい児童の育成

学校経営の基本方針



学校は児童が主役であることを念頭に、全職員の英知と創意工夫を結集し、一人一人の能力や可能性を引き出し、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成に努める。

- ◇ 「生きる力」を育むための創意ある教育課程の編成・実施
- ◇ 「言語活動」「道徳教育」「志教育」の関連を図った教育活動の推進
- ◇ 「学校評価」を基に、組織の活性化を図るための学校改善
- ◇ 教職員としての専門的な力量を高めるための校内研修の充実
- ◇ 地域に信頼される開かれた学校づくり

めざす児童像

- ◎ やさしく（明るく思いやりのある子ども・心の向上）
- ◎ かしこく（よく考え進んで学習する子ども・学力の向上）
- ◎ たくましく（健康でたくましい子ども・体力の向上）

めざす学校像

- ◎ 子供一人一人が生き生きと活動できる学校
- ◎ 勉強が分かり、友達と遊ぶのが楽しい学校
- ◎ 家庭・地域と連携のとれた開かれた学校

めざす教師像

- ◎ 児童を愛し、児童とともに学ぶ教師
- ◎ 教師としての自覚と使命感を持つ教師
- ◎ 研修に努め、信頼される教師

今年度の重点努力事項

《やさしく》

- ・ 異年齢及び交流体験活動を通しよりよい人間関係の構築
- ・ 互いのよさを認め合い、高め合うことのできる学級づくり
- ・ 人の役に立つ喜びを味わうことができる活動の設定
- ・ 道徳的実践力を培うための指導改善・充実
- ・ 挨拶、返事の励行

《たくましく》

- ・ 進んで運動する習慣の育成
- ・ 健康で安全な生活を送る態度と習慣の育成
- ・ 外遊びの励行

《かしこく》

- ・ 学習の基礎・基本の確実な定着と活用する力の向上
- ・ 子ども同士が互いに高め合うことができる授業づくり
- ・ よさや持ち味を生かした表現力の育成
- ・ 家庭学習の充実
- ・ 将来の夢や希望・目標をもたせる学習や体験活動の工夫



在籍児童数

学 年	1年1組	2年1組	3年1組	わかくさ	4年1組	5年1組	6年1組	合 計
児 男	7	9	6	1	7	10	5	45
女	7	2	6	0	5	7	3	30
数 合 計	14	11	12	1	12	17	8	75



間違えてももう一度考え、
失敗してもまたやり直す南小っ子
美里町立南郷小学校

所在地	〒989-4205 宮城県遠田郡美里町木間塚字高田5番地		
開 校	明治6年6月15日	開校記念日	6月15日
電 話	0229-58-1106	FAX	0229-58-0461
学校 hp	http://www.nango-es.misato-ed.jp		
e-mail	nango-es@misato-ed.jp		

児童数・学級数

学 年		1	2	3	4	5	6	特支 1	特支 2	合計
児 童 数	男	14	12	12	15	19	13	4	2	91
	女	20	12	24	19	14	16	2	0	107
	計	34	24	36	34	33	29	6	2	198
学級数		1	1	2	1	1	1	1	1	9



教育目標

夢や目標を持って自ら学び、心豊かで、たくましい児童を育成する

児童像

- かしこい子（一生懸命勉強する）
- やさしい子（友達と共に励まし合いながら取り組む）
- たくましい子（友達と共に心と体を鍛える）

学校経営方針

- 1 学習課題を「自分事」として捉え、「間違えてももう一度考え、失敗してもまたやり直す」児童を育てる。
- 2 令和4年度みやぎ「行きたくなる学校づくり」を中心とした実践により、児童の「学ぶ喜び」、保護者の「通わせる喜び」、教職員の「教える喜び」の実現をめざす。
- 3 ゆとりある教育課程を編成し、学習指導要領を踏まえた確かな学力の育成に努める。
- 4 校務の精選、省力化等を進め、授業づくりの時間とゆとりを確保した職場環境を築く。

努力事項

- 1 学力の向上
学習指導要領に基づき、求められている思考力・判断力・表現力の育成に努める。
- 2 心を育てる指導
「成りたい自分に成る」ために、児童が主体的に活動する場を意図的に設定し、コーチング的な手法で、責任感、前向きな考え方、自己肯定感、自己有用感を涵養する。
- 3 健康な体づくりと勤労意欲の向上
学校行事や各種教育活動と連携した、継続的な取組を推進する。
- 4 「志教育」の推進
「志教育」を児童・保護者・教員が「自分事」として実践する、三位一体の「自分学習プロジェクト」を推進する。
- 5 特別支援教育の充実
校内就学指導体制の充実と、児童一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育課程の編成と指導・支援に努める。
- 6 学校安全教育の充実
学校の安全計画の見直しを図り、より実態に即したものにす。保護者や地域との連携を密にして日常から災害時に備える。
- 7 生徒指導・教育相談の充実
生徒指導の三機能を意識した指導と支援を展開する。
- 8 開かれた学校づくり
保護者や地域住民、関係機関や諸団体との連携を密にし、相互信頼を基にした協働教育を展開する。



美里町立小牛田中学校 〈開校記念日 2月23日〉
〒987-0004 遠田郡美里町牛飼字新西原310番地
TEL 0229-32-2402 FAX 0229-32-3027
E-mail kogota-jhs@misato-ed.jp

令和4年度



学校経営方針（構造図）

本校教育目標

夢と希望に向かって、主体的に自らを高めようとする生徒の育成

めざす学校像

- 生徒にとって、明日も行きたいと思える魅力ある学校
- 生徒が主役となる教育活動を推進する学校
- 開かれた教育活動により、家庭・地域から信頼される学校

めざす生徒像（≒校訓）

- 正しく <知>**
目標をもって正しく判断し、自ら進んで学ぶ生徒
- 明るく <徳>**
明るく、思いやりの心をもって生活する生徒
- たくましく <体>**
健康でたくましく、強い意志をもって実践する生徒

めざす教職員像

- 専門職としての力量を高め、生徒とともに向上する教職員
- 使命感と誇りを持ち、家庭・地域から信頼される教職員
- 自らのライフ・ワーク・バランスを意識し、実現できる教職員

めざす生徒像の追求

＜実践の柱 1＞	＜実践の柱 2＞	＜実践の柱 3＞
正しく／目標をもって正しく判断し、自ら進んで学ぶ生徒	明るく／明るく、思いやりの心をもって生活する生徒	たくましく／健康でたくましく、強い意志をもって実践する生徒
①基礎学力の向上 ②個に応じた指導の工夫 ③「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習過程の工夫 ④集会活動、話し合い活動等の生徒主体の自治的活動の工夫促進 ⑤ICTを活用した指導の工夫（GIGAスクール構想の推進） ⑥「キャリア形成・自己実現」の支援	①居場所と温かさのある学校・学年づくりの推進と特別活動の充実（生徒指導の3機能を生かした教育活動の実践） ②道徳教育を核とした「心の教育」の充実 ③ボランティア、縦割り活動等の社会性を高める体験活動の促進 ④主体性と自律心の育成（小牛田中生の5つの基本形）	①基本的な生活習慣の定着 ②心身の健康教育の推進 ③体力・運動能力の向上（教科体育・部活動等を通して進める自主的な体向上策の工夫） ④目的意識と達成感を大切にし、粘り強さを育てる教育活動の展開 ⑤危機対応能力の育成・向上

信頼される開かれた学校づくり

＜実践の柱 4＞	＜実践の柱 5＞	＜実践の柱 6＞
教職員の資質・能力を高める研修の充実	安全・安心を感じる教育環境づくりの推進	家庭・地域との連携
①今日的課題と実態を踏まえ、互いに学び、高め合う校内研究の工夫 ②専門性を高める職員研修・OJTの推進（伝導会、研修会：指導法、道徳科、教育相談、特別支援教育、ICT等） ③成果と課題を踏まえ、新たな視点を創出するチーム・分掌部会の充実	①組織で取り組む生徒指導体制の充実と外部資源の積極的な活用 ②新たな不登校を生まない取組（「対人関係の改善」と「学習面の改善」）の推進 ③教育的ニーズと困り感に寄り添い、チームで進める個別支援の充実 ④ユニバーサルデザイン（UD）を取り入れた居心地の良い学習環境づくり ⑤「インクルーシブ教育」の推進	①PDCAサイクルを踏まえた教育活動の改善と各種評価アンケート（含学校評価）の工夫 ②学校だよりの地域配布（回覧）、各種たよりによる情報発信等の工夫 ③地域と連携した防災教育の推進

小牛田中生5つの基本形 【凡事一流】

- 1 元気でさわやかな挨拶ができる生徒
- 2 校歌を大きな声で堂々と歌える生徒
- 3 真剣に清掃と奉仕活動に取り組む生徒
- 4 毎日、家庭学習に取り組む生徒
- 5 何事にもチャレンジする生徒

実践のキーワード

熱意・創意・誠意・安心感

行きたくなる学校づくり（不登校未然防止）

＜居場所づくり＞ ＋ ＜絆づくり＞

合い言葉は「私も大切、あなたも大切」

＜目標指標＞

- ・学校が楽しいと答える生徒95%
- ・何事にも（失敗を恐れずに）挑戦していると答える生徒85%

生徒数・学級数

学年	学級数	男	女	計
1	2	30	30	60
2	2	38	32	70
3	2	22	26	48
特別支援学級	3	3	1	4
合計	9	93	89	182



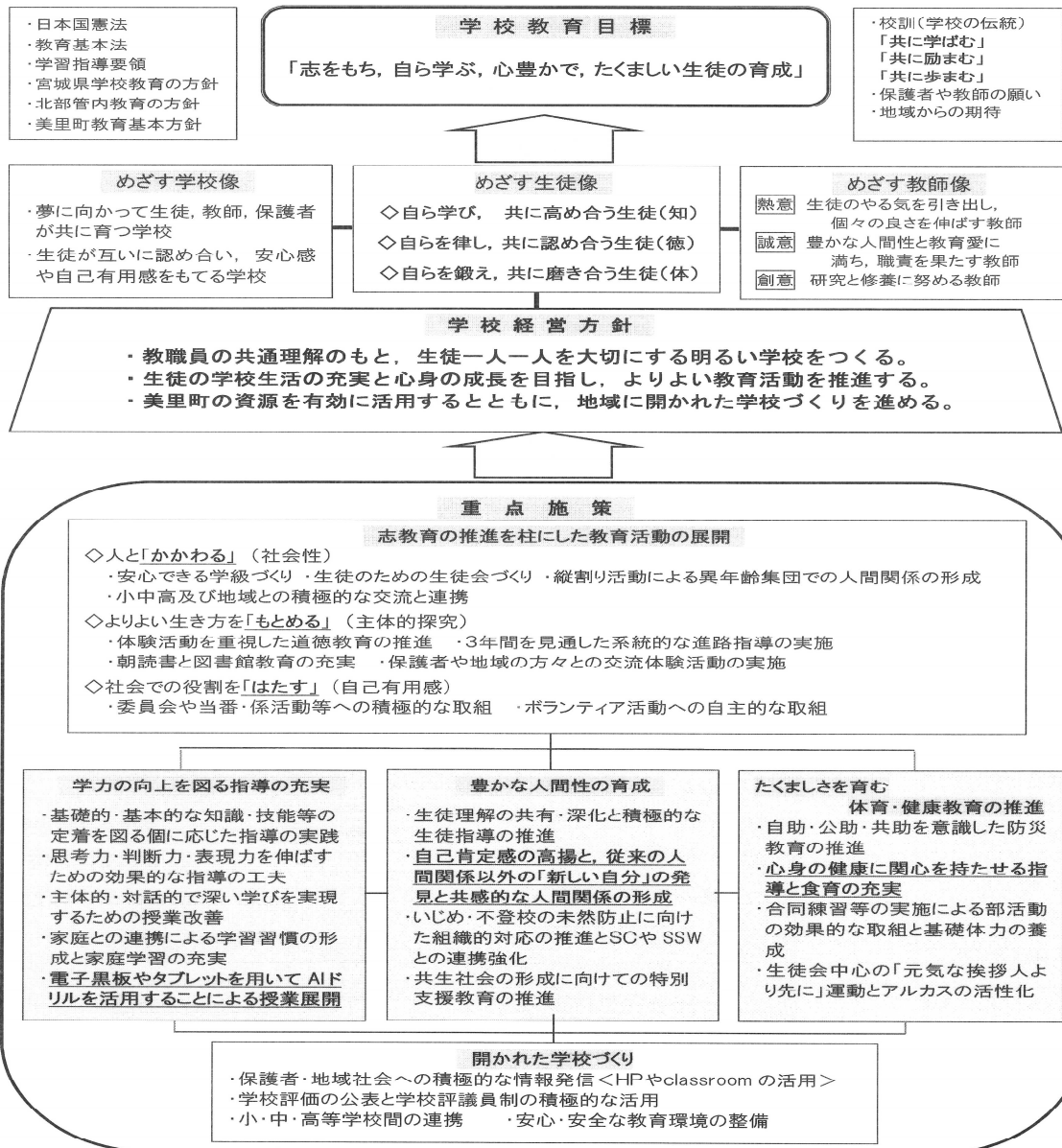
美里町立南郷中学校

〒989-4205 遠田郡美里町木間塚字高田66番地
TEL: 0229-58-1142 / FAX: 0229-58-1229
E-mail: nango-jhs@misato-ed.jp
URL: http://nango-es.misato-ed.jp/

令和4年度 学級及び生徒数

	1年1組	1年2組	2年1組	2年2組	3年1組	3年2組	鳴瀬学級	稲穂学級	合計
男子	9	9	10	10	13	12	2	2	67
女子	9	10	12	12	10	11	0	0	64
計	18	19	22	22	23	23	2	2	131

令和4年度学校経営構想 ～教育目標・経営方針・重点施策～



（５）南郷学校給食センター

徹底した衛生管理に努め、成長期にある子供たちの栄養摂取に十分に配慮した安全安心な給食を南郷小学校、南郷中学校及びなんごう幼稚園に提供している。



所在地	〒989-4205 宮城県遠田郡美里町木間塚字高田 66 番地
施設概要	382㎡ ドライ方式を採用 5月1日現在 調理食数 500食
電 話	0229-58-1244
FAX	0229-58-1236

5 社会教育・生涯学習

(1) 社会教育事業計画

1) 家庭教育支援事業

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
子育てカフェ	未就学児とその親	20人	通年	未就学児とその親同士の交流 (駅東地域交流センターで実施)
家庭教育支援講座	未就学児とその親	60人	通年	家庭教育支援チーム等を中心に、子育て中の親のための学習会を開催する。
子育てボランティア養成講座	全町民	10人	通年	北部管内市町で開催する。 子育てサポーター研修参加者支援

2) 青少年育成事業

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
美里っ子体験塾	町内小学1年～4年生	20人	7月	自然散策(小牛田農林学校林活用事業)
インリーダー研修会	町内小学5年～6年生	20人	6月	講話,実技研修
		20人	9月	実習(こどもふれあいまつり)
		20人	11月	地域の歴史学習(郷土資料館訪問)
ジュニアリーダー研修会	町内中学・高校生	15人	6月	初級研修会(町主催)
		4人	7月、12月	中・上級研修会(宮城県主催)
		自由参加	通年	地域活動等のボランティア活動
こどもふれあいまつり	児童及び保護者	自由参加	9月	子どもたちの体験活動と地域住民との交流
大崎地方青年文化祭	北部管内在住の青年	自由参加	1月	北部教育事務所主催(演劇・郷土芸能等)

3) 社会教育委員設置事業

事業名	対象者	委員数	時期	事業内容等
社会教育委員設置事業	委員	5人	4月、3月	定例会の開催,研修会参加

4) 青少年問題協議会運営事業

事業名	対象者	委員数	時期	事業内容等
青少年問題協議会設置事業	委員	13人	随時	定例会の開催,研修会参加

5) 学校体育施設開放事業

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
学校体育施設開放事業	全町民	—	随時	定例会,研修会

(2) 生涯学習事業計画

1) 中央コミュニティセンター

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
まちづくりセミナー	全町民	希望者	通年	地域課題解決等の講話、ワークショップ
町民講座「出前講座」	全町民	希望者	通年	地域づくりに関する学習会
人材バンク活用事業	全町民	希望者	通年	個人、団体に関する情報提供

2) 本小牛田コミュニティセンター（指定管理者）

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
コミュニティ力向上講座	地区住民	20人	11月、12月	移動研修、普通救命講習
おやこ体験セミナー	小牛田小学校区の親子	20人	7月	親子陶芸教室
自分発見講座	地区住民	20人	6月	地元地域を学ぶ
		20人	9月	伝統工芸に触れる
		20人	10月	移動研修
		20人	11月	フラワーアレンジメント
		20人	2月	3館コミュニティセンター合同講演会
健康づくり講座	地区住民	15人	6月	軽体操とミニ座談会
		15人	9月	軽体操とミニ座談会
		15人	12月	軽体操とミニ座談会
		30人	2月	3館コミュニティセンター合同講演会
陶芸教室	全町民	15人	6月	菓子鉢制作（ひも作り）
		15人	6月	茶こぼし制作（玉作り）
		15人	7月	湯呑み制作（タタラ板）
		15人	7月	釉薬掛け
		15人	9月	平皿制作
		15人	9月	自由制作
		15人	9月	自由制作
		15人	10月	釉薬掛け
		15人	10月	反省会
サークル発表会	地区住民	自由参加	10月	作品展示芸能発表

3) 駅東地域交流センター（指定管理者）

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
楽集塾	地区住民	20人	8月	ニュースポーツ体験
		20人	9月	介護予防運動
		20人	9月	移動研修
サークル発表会	地区住民	自由参加	10月	作品展示芸能発表

4) 北浦コミュニティセンター（指定管理者）

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
地域力向上学習会	地区住民	20人	11月	防災講座
親子体験教室	北浦小学区の児童とその保護者	30人	7月	生き物調査
北浦こども塾	北浦小学区・児童	15人	6月	社会科見学
		15人	8月	夏休み工作教室
		15人	9月	遠足
北浦おとな塾	地区住民	20人	5月	移動研修
		20人	7月	陶芸教室
		20人	12月	スマートフォン教室
健康づくり講座	地区住民	20人	6月	ウォーキング
		20人	9月	パークゴルフ
		20人	10月	パークゴルフ
きたうら祭り	地区住民	150人	8月	ジャンボ紙相撲大会
北浦地区スポーツ大会	地区住民	自由参加	11月	ペタンク大会

5) 中埜コミュニティセンター（指定管理者）

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
地域力向上学習会	地区住民	18人	11月	地域づくりに関する学習会
親子DE遊ぼう	中埜小学校区の 幼児と保護者	50人	7月	ニュースポーツ
		20人	12月	防災クッキング
中埜自由塾	地区住民	20人	5月	食育講座
		20人	8月	チャレンジ！フチガーデン
		20人	10月	町内歴史探検
		20人	11月	染物教室
		20人	12月	防災教室
		20人	2月	3館コミュニティセンター 合同講演会
健康づくり講座	地区住民	20人	6月	食育教室
		20人	10月	パークゴルフ
		20人	1月	50歳からの筋トレ
パソコン教室	全町民	20人	7月	パソコンの実技
		20人	7月	パソコンの実技
		20人	7月	パソコンの実技
		20人	7月	パソコンの実技
サークル発表会	地区住民	自由参加	12月	作品展示芸能発表

6) 青生コミュニティセンター（指定管理者）

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
地域力向上学習会	地区住民	50人	2月	地域づくりに関する学習会
集まれ！キッズ	青生小学校区児童	20人	8月	夏休み工作
		20人	12月	冬休み工作
地域講座「あおう」	地区住民	20人	4月	出前講座
		20人	9月	うた声サロン
		20人	2月	3館コミュニティセンター 合同講演会
元気講座	地区住民	20人	5月	春のウォーキング
		20人	10月	秋のウォーキング
		20人	1月	室内軽運動
趣味・教養講座	地区住民	20人	6月	自分探し講座
		20人	7月	自分探し講座
		15人	9月	食育講座
		15人	11月	食育講座
サークル発表会	地区住民	自由参加	11月	作品展示・芸能発表

7) 農村環境改善センター（指定管理者）

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
地域力向上学習会	地区住民	50人	10月	地域づくりに関する学習会
こども体験教室	南郷小学校区児童	20人	5月	食育教室
		20人	7月	夏休み陶芸教室
		20人	8月	親子DIY工作教室
		20人	10月	科学実験
		20人	12月	食育教室
地域講座「きらり」	地区住民	20人	4月	ウォーキング
		20人	6月	ニュースポーツ
		20人	8月	おとなのお絵かき講座
		20人	11月	寄せ植え講座
		20人	1月	落語鑑賞
趣味・教養講座	地区住民	20人	5月	食育教室
		20人	7月	リラックスヨガ
		20人	10月	ウォーキング
		20人	11月	パソコン教室
生活お役立ち講座	地区住民	20人	2月	障子貼り講座
		20人	3月	植木選定講習
親子あそびのひろば	児童、地区住民	自由参加	10月	遊びのコーナー

8) 成人式事業

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
二十歳を祝う会	新成人	自由参加	1月	成人式式典,実行委員会企画

9) 非核平和推進事業

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
平和学習	町内全中学生	12	8月	平和の尊さを学ぶ研修
平和展	全町民	自由参加	8月	日本非核宣言自治体協議会 及び平和市長会議と連携した平和展
平和パネル展	町内小中学校	—	2月	戦争の悲惨さを伝える講演など

10) 男女共同参画推進事業

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
啓発活動	全町民		通年	情報提供

11) 文化振興事業

事業名	対象者	募集数	時期	事業内容等
町民文化祭	全町民	自由参加	11月	美里町文化協会主催（展示・芸能）

(3) 指定・登録文化財一覧

区分	種 別	名 称	指定年月日	所在地	所有者・管理者
国指定	記念物 史 跡	山前遺跡	S51. 6. 7	北浦字山前	美里町
町指定	民俗文化財 無形民俗文化財	関根神楽	S53. 3. 3	関根字道明	関根神楽 保存会
町指定	民俗文化財 無形民俗文化財	不動堂神楽	H22. 6. 17	字西館	不動堂神楽 保存会
町指定	記念物 史 跡	素山貝塚	H26. 8. 1	字素山町	美里町
町指定	有形文化財 工芸品	後藤の朱槍	H28. 7. 1	北浦字待江	美里町
町指定	記念物 天然記念物	十王山の 槻ノ木	H30. 7. 3	木間塚字古館	美里町
国登録	有形文化財 建造物	上野家住宅 主屋	H15. 12. 1	木間塚字古館	個人
国登録	有形文化財 建造物	上野家住宅 板倉	H15. 12. 1	木間塚字古館	個人
国登録	有形文化財 建造物	上野家住宅 門	H15. 12. 1	木間塚字古館	個人

(4) 文化財関係施設一覧

名 称	所在地	開 館 日	備 考
山前遺跡公園	北浦字山前 53-2	常時開放	国指定史跡
不動堂史跡公園	字西館 8	常時開放	記念館は別途申込必要
美里町教育総務課	木間塚字中央 1 番地	土曜日、日曜日、祝日を除く	文化財係所在地
美里町郷土資料館	牛飼字御蔵新田 93-4	月曜、祝日、年末年始を除く	
美里町近代文学館	北浦字待江 98	月曜、祝日、年末年始を除く	「後藤の朱槍」展示

（５）近代文学館・図書館

近代文学館・小牛田図書館



所在地	〒987-0005 宮城県遠田郡美里町北浦字待江98番地
施設概要	1階 図書館922.65㎡ 2階 視聴覚会議室 町民ギャラリー 千葉亀雄記念文学室654.73㎡
電 話	0229-33-3030
FAX	0229-33-3010

南郷図書館



所在地	〒989-4205 宮城県遠田郡美里町木間塚字中央1番地
施設概要	南郷庁舎1階 図書館260.7㎡
電 話	0229-58-1212
FAX	0229-58-1215

運営方針

【図書館】

- ① 文化・情報の宝庫，発信地となるよう資料の充実に努める。
- ② 生涯学習の場として町民が自己学習を行うための，鮮度の高い多彩な資料を提供できるように努める。
- ③ 広報を活用し，特に児童層，高齢者層の利用拡大を図る。
- ④ 自主企画事業及び講座を開設し，来館者の拡大と定着化を進める。
- ⑤ 来館が困難な人へのサービス向上を図る。

【千葉亀雄記念文学室】

- ① 千葉亀雄に関する著作物等の収集，情報整理に努め，業務の発掘を図る。
- ② 千葉亀雄に関する文献等を整理し，広く紹介に努めるとともに他の文学館等関係機関との連携を図る。

【町民ギャラリー】

- ① 常設展示作品の充実に図り，町民の更なる情操を育む一助となるよう努める。
- ② 自主企画展ならびに貸館による個展・グループ展への会場提供により，創作の自主活動の振興を図る。

(6) 美里町郷土資料館

地域の歴史を伝える親しみやすい資料館を目指し、平成29年8月5日に開館。当地域で使われてきた農具や民具、町内の遺跡から出土した土器等を主に展示している。年4回のミニ企画展や体験講座などを開催しているほか、地域の郷土資料の収集に励んでいる。



所在地	〒987-0004 宮城県遠田郡美里町牛飼字御蔵新田93番地4
施設概要	郷土資料館展示スペース 90㎡ 収蔵室 72㎡ 実習室 72㎡
開館時間	10:00 ~ 16:00 (入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜、第1木曜、年末年始、祝日等 (臨時休館有り)
電 話	090-2796-9369 (郷土資料館直通)
FAX	0229-58-2376 (美里町教育総務課)

(7) 社会教育・生涯学習関連施設

※指定—指定管理者制度

No	名 称	所 在 地	連絡先・電話番号	備考
1	教育委員会教育総務課	木間塚字中央1番地	58-0500	
2	まちづくり推進課	北浦字駒米13番地	33-2180	
3	中央コミュニティセンター	北浦字駒米13番地	33-2180	
4	駅東地域交流センター	駅東二丁目17番地4	31-1321	指定
5	本小牛田コミュニティセンター	南小牛田字町浦10番地8	33-2739	指定
6	北浦コミュニティセンター	北浦字道祖神前7番地5	34-2224	指定
7	中埜コミュニティセンター	中埜字卯時3番地9	34-1321	指定
8	青生コミュニティセンター	青生字和谷地175番地1	32-5801	指定
9	農村環境改善センター	木間塚字高田33番地	58-0123	指定
10	下二郷コミュニティセンター	二郷字蔵人主二号10番地		指定
11	文化会館	北浦字駒米13番地	33-2730	指定
12	近代文学館・小牛田図書館	北浦字待江98番地	33-3030	
13	南郷図書館	木間塚字中央1番地	58-1212	
14	郷土資料館	牛飼字御蔵新田93番地4	090-2796-9369 (直通電話)	
15	トレーニングセンター	北浦字下新田97番地1	34-2865	指定
16	南郷体育館	木間塚字高田33番地	58-0913	指定
17	南郷スイミングセンター	木間塚字高田48番地	58-2220	指定
18	素山野球場	字桜木町164番地	トレセン	指定
19	牛飼テニスコート	牛飼字牛飼98番地	トレセン	指定
20	南郷運動場	木間塚字高田33番地	南郷体育館	指定
21	南郷球場	木間塚字中央1番地	南郷体育館	指定
22	南郷テニスコート	木間塚字中央1番地	南郷体育館	指定

(8) 社会教育委員

令和4年4月1日現在

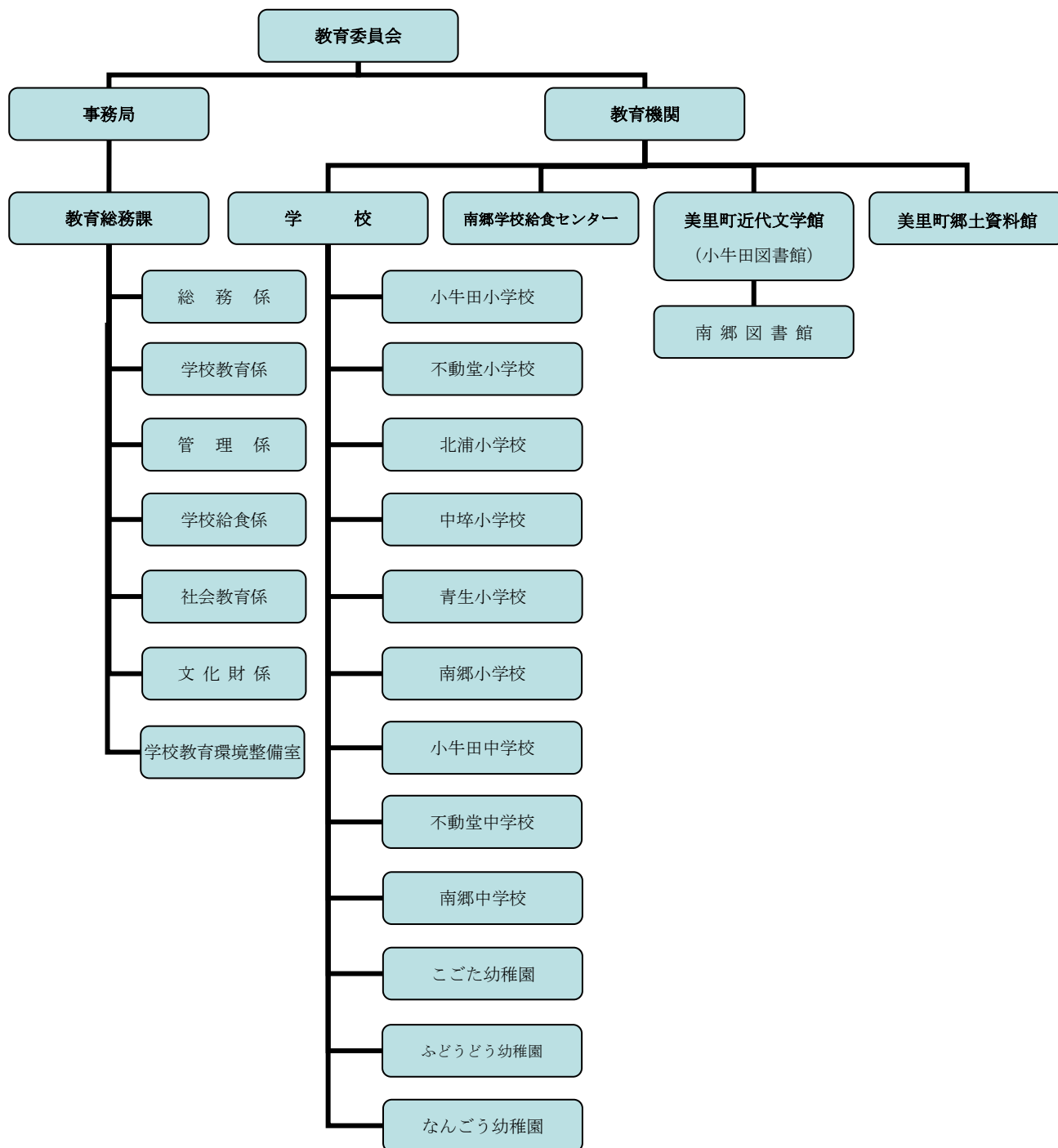
職 名	氏 名	選 任 区 分	就 任 年 月 日	備 考
委 員	早 坂 美名子	学識経験者	令和元年7月24日	議 長
委 員	小 嶋 恵美子	家庭教育	令和元年7月24日	職務代理者
委 員	佐 藤 勇 寿	学校教育及び社会教育	令和4年4月1日	令和4年異動
委 員	大 野 一 郎	公募	令和元年7月24日	
委 員	秋 山 英 之	公募	令和元年7月24日	

6 美里町教育委員会

令和4年4月1日現在

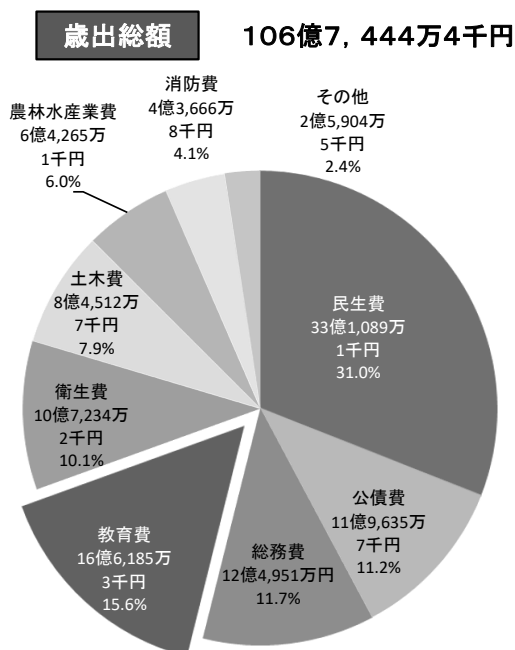
職 名	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	備考
教 育 長	大 友 義 孝	令和 3年2月20日	令和 6年2月19日	2期
委員 (教育長職務代理者)	留 守 広 行	平成 31年2月20日	令和 5年2月19日	2期
委 員	大 森 真智子	令和 2年2月20日	令和 6年2月19日	1期
委 員	佐 藤 キ ヨ	令和 3年2月20日	令和 7年2月19日	1期
委 員	佐々木 忠 夫	令和 4年4月 1日	令和 8年3月31日	1期

7 美里町教育委員会組織機構

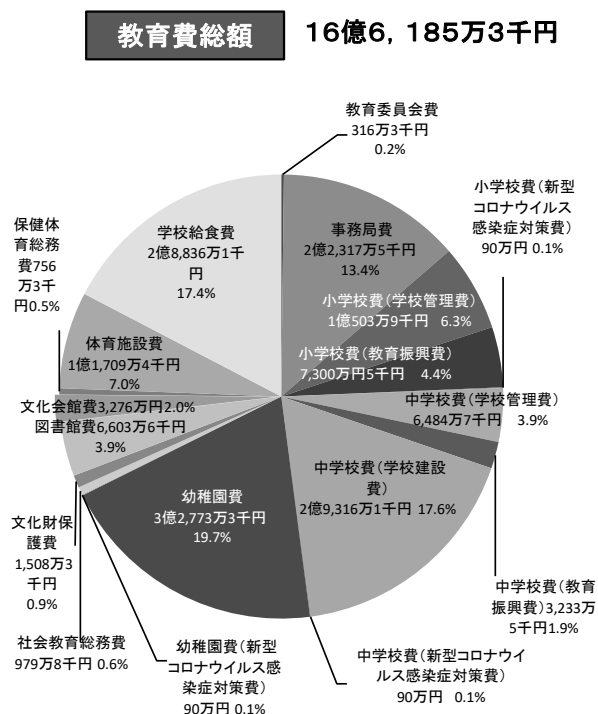


8 教育予算

《美里町一般会計予算》



《教育費歳出予算》



当初予算ベース (単位:千円、%)

項 目	予算額	構成比
1 教育委員会費	3,163	0.2
2 事務局費	223,175	13.4
3 小学校費		
学校管理費	105,039	6.3
教育振興費	73,005	4.4
新型コロナウイルス感染症対策費	900	0.1
4 中学校費		
学校管理費	64,847	3.9
教育振興費	32,335	1.9
学校建設費	293,161	17.6
新型コロナウイルス感染症対策費	900	0.1
5 幼稚園費	327,733	19.7
新型コロナウイルス感染症対策費	900	0.1
6 社会教育総務費	9,798	0.6
7 文化財保護費	15,083	0.9
8 図書館費	66,036	3.9
9 文化会館費	32,760	2.0
10 保健体育総務費	7,563	0.5
11 体育施設費	117,094	7.0
12 学校給食費	288,361	17.4
合 計	1,661,853	100.0

9 附属機関等

委 員 会 ・ 審 議 会	委 員
◎ 社会教育委員	10人以内
◎ 心身障害児就学指導審議会	20人以内
◎ 学校給食運営審議会	15人以内
◎ 近代文学館運営審議会	10人以内
◎ 文化財保護委員会	7人以内
◎ 教育委員会評価委員会	3人以内
◎ いじめ防止対策委員会	10人以内
◎ 青少年問題協議会	20人以内

10 教育委員会事務局一覧

(1) 教育委員会事務局

名 称	所 在	電 話 番 号
教 育 総 務 課	美里町木間塚字中央1番地（南郷庁舎2F）	58-0500

(2) 教育関連施設等

名 称	所 在	電 話 番 号
こ ご た 幼 稚 園	美里町北浦字中新田142番地	35-2031
ふ どう どう 幼 稚 園	美里町字志賀町三丁目2番地1	33-2192
な ん ご う 幼 稚 園	美里町木間塚字中央1番地	58-1272
小 牛 田 小 学 校	美里町牛飼字清水江220番地	32-2319
不 動 堂 小 学 校	美里町字峯山12番地1	32-2036
北 浦 小 学 校	美里町北浦字浦田上129番地	34-2332
中 埜 小 学 校	美里町荻埜字朝日壇78番地	34-2331
青 生 小 学 校	美里町青生字中ノ橋128番地1	32-2278
南 郷 小 学 校	美里町木間塚字高田5番地	58-1106
小 牛 田 中 学 校	美里町牛飼字新西原310番地	32-2402
不 動 堂 中 学 校	美里町字志賀殿72番地	32-2068
南 郷 中 学 校	美里町木間塚字高田66番地	58-1142
近 代 文 学 館	美里町北浦字待江98番地	33-3030
小 牛 田 図 書 館	美里町北浦字待江98番地（近代文学館1F）	33-3030
南 郷 図 書 館	美里町木間塚字中央1番地（南郷庁舎1F）	58-1212
美 里 町 郷 土 資 料 館	美里町牛飼字御蔵新田93番地4	33-3030 （近代文学館）
南 郷 学 校 給 食 セ ン タ ー	美里町木間塚字高田66番地	58-1244



発行日：令和4年6月1日

発行：美里町教育委員会

編集：美里町教育委員会